

令和5年度第2回部活動地域移行検討委員会 会議録

日 時 令和5年7月7日（金） 午後3時から午後4時18分

場 所 豊明中学校 応接室

出席者 坂井朋弘委員長、小崎真副委員長、笠原丈子委員、寺田将行委員、小中PTA代表委員

事務局 高木安司教育部長、山田秋男学校支援室長、秋永亘正学校教育課長、相羽敏明生涯学習課長、本田敏倫学校支援室長補佐、花井悟之学校教育課長補佐

議事録（要旨）

1 あいさつ

教育部長 中学校の休日の部活動から地域移行を進め、平日、小学校についても、皆様の意見を聞きながら進めていきたい。子どもたちにとってよりよい環境にしていきたい。

2 議題

（1）第1回部活動地域移行検討委員会検討事項の振り返りについて

事務局 前回は、背景や現状の課題を説明させていただいた。なぜ地域移行が必要かという、少子化、働き方改革が背景にある。中学校の休日について、地域団体への移行を先行して進めていくと同時に、小学校については廃止を含めて検討していきたい。時期は決定していないが、近隣の市町に合わせて行っていきたい。資料でもお示ししているが、愛日地区の小学校の部活動については、軒並み廃止に向かっている。もともとやっていないところもあり、小学校については全国的に廃止の流れがある。小学校の部活動は、学習指導要領に記載がなく、先生の自主的な努力で成立しているという背景がある。よい面もあるため、何らかの形で、民間や地域の力を借りながら、対応できればと考えている。中学校でも廃止予定の部活動があり、こちらは前回の資料でお示した。中学校は生徒の8割が部活動に所属しているため、生徒のニーズを十分汲んで地域移行を進める必要がある。資料1として県教育委員会が作成したチラシをお示ししているが、裏面にメリット、今後のスケジュール、指導者について記載がある。別の資料でその内容を端的にお示ししている。位置づけとしては学校教育から切り離される。

委員長 意見や質問はありますか。後ほどでも結構ですので、議題を先に進めます。

（2）部活地域移行の具体的な進め方

ア 生徒及び教員のアンケート結果について

事務局 資料2に生徒と先生へのアンケートの結果をお示しました。中学生徒アンケート結果からは、あったらよいと思う種目が非常に多岐に渡っていることが読み取れます。こちらを参考にしながら、各団体と交渉を進めているところです。教員へのアンケート結果を見ると、設問の3で「休日も平日も完全に任せる」が圧倒的に多い。理由としては、授業の準備時間の確保や指導の一貫性、専門の知識がある人の指導の方がよいなどがある。先生方の意向も踏まえて進めて

- いきたい。
- 委員長 意見や質問はありますか。前回もお伝えしましたが、本校は、学校経営案から部活動の記載を外しました。教員は、皆様子を見ている状態だが、流れが変わりつつあることを感じている。すぐに変わらないことでも動いて、やれることから少しずつやらないといけません。
- 委員 先生へのアンケートについて、部活動の顧問をしている先生にアンケートを採った結果だと思うが、小学校の部活動に関わっていない先生の声も含まれていないか。そういった先生からすれば、必然的にBとなる。
- 事務局 確認しますが、小学校の先生が多いのは間違いない。
- 委員長 部活をしていない小学校の先生も回答しているとなると、数値の意味合いが変わってしまいます。また、よくわからないまま回答してしまった先生もいるかもしれません。
- 委員 自分の所属する学校では、部活の先生だけが回答していると思う。
- 事務局 確認します。いろいろなご意向はありますが、そういったものも踏まえて進めていきたい。
- 委員 小学校でも、サッカー、バスケ、カラーガード、吹奏楽とあるので、関わっている先生も多いといえは多い。
- 委員 小学校では、関わっていない先生も多い。いずれにしても、Bが多いことは間違いない。
- 委員 生徒の声で、一番多かったのはどれですか。
- 事務局 Eスポーツが多い。運動だと、一番多いのがバドミントンで、ダンス、ドッジボール、ハンドボール、弓道、野球も多い。
- 委員 今はない部活動を答えており、今あるものは除外して回答しているのではないか。
- 委員長 バドミントンについては、豊明中学校でも市外のスポーツクラブでやっている生徒が毎年数名います。

イ 運営主体について

- 事務局 現在、事務局にていくつかの団体に当たっている。ソフトテニスについては、かなり前向きな意向を示していただいている。柔道についても、指導や子どもとの接し方に精通されており、柔道人口を増やすという点からも前向きであった。また、ボーリングについても、送迎バスが出せるということもあり、予算にも関わってくるのだが、前向きであった。ボウリングは、男女がいっしょにできることや障がいがある子でも参加できることなどメリットがある。今までの運動部には携われなかった子も参加できるかもしれない。企業や団体、教室などに声をかけながら探っているが、内容や種目によって、いろいろな移行の仕方がある。まずは中学校の休日について地域移行を進める。小学校については廃止に向けて舵を切らざるを得ない状況だが、何らかの形で受け皿づくりをしていきたい。皆様からのアイデアや提案もあればお願いしたい。
- 委員 県のリーフレットでは、あと2、3年後にはとのことだが、間に合うのか。もっと全体にアピールしながら、市をあげた大きな動きが必要ではないか。

事務局 それもありだとは思いますが、やってみて見えてくる課題もあると思う。できるところからということで、試行錯誤しながら進めている。

委員 まず、やってみようはずごく大事だと思う。どうやっても問題は出る。早くやれること、今やれることからやっていった方が道は開けていくのではないかと。先ほどまでの話の中でも、個人競技が多い。以前も、チーム競技の問題が大きかった。早く着手しないと、と個人的には思っている。

委員 市内にジュニアクラブがいくつかある。すでに話されていると思うが、そのあたりからという理解でいいか。ちびっこ教室、冬はスキー、夏はシャワークライミングなどを実施している団体もある。そういったところに話を聞いてもいいのではないかと。

委員長 ソフトテニスや柔道は母体がありますが、中学校では、保護者が主体となってバレーボールクラブを立ち上げられたこともあります。そういった可能性もあるのではないのでしょうか。

委員 休日と平日で色合いが変わるとのことか。

事務局 位置づけとしては、学校教育の一環から生涯学習の一環が変わる。

委員 平日は大会を目指してがんばるとして、休日は。

事務局 そもそも、休日と平日で違う活動ということもあり得ます。

委員 そうなると混乱するのでは。

事務局 指導者も変わる。小学校でも、力を入れてやりたい子は、平日は部活動に参加し、休日はクラブチームということもある。

委員 そうなってくると部活の意味は。うちの子どもはバスケを楽しみにしている。スポーツを楽しみたい子と競技志向の子で温度差ができるのでは。

委員長 中学校ですが、活動は週3、長くても午後5時30分までの2時間なので、現時点でもしっかりやりたい子には厳しい環境です。二極化の懸念もあり、平日と休日の住み分け、大会の参加要件のことも考えないとはいけません。春日井市が少し早く進んでいますので、このあたりは情報が入ればまた共有します。

委員 同じ部活でも、ゆったり、まったりという子と競技志向の強い子が一緒にやることの不安もある。亀裂が生まれないようにしてほしい。

委員 それは現時点でもある。

委員長 「ゆる部活」という言葉もありますが、学校がその役割になっていくのかもしれない。

ウ 生徒・保護者の意向調査について

事務局 児童生徒の気持ちをきちんと把握して移行すべきと考え、資料3ではアンケートの案をお示しした。まだたたき台なので、忌憚ない意見をいただきたい。

委員 このお願いでは、小学校5年に理解してもらうのは難しい。アンケートの狙いは何か。保護者用の6について、心配という声が大きすぎた場合、打つ手はあるのか。連携を求められても、打ち合わせはとてできない。

事務局 ソフトテニスは関係ができており、休日に顧問がいなくても、平日の活動を踏まえてやってもらうことができる。内容によって、平日の活動の延長となる場合、平日の活動とは切り離す場合があるのではないかと。

委員長 アンケートの設問に入れるかどうかということですか。
委員 そうです。
委員 このアンケートを行う予定ですか。
事務局 内容は修正する。
委員 今までの資料を配布するなどはしますか。私はニュースなどで見たことがあったが、知らない人も多いのでは。図解や難しい言葉を削ることも必要では。
委員 もう少し簡単な文章と絵がよい。
委員 難しすぎる。
委員長 一年前に廃止の部活について保護者への説明を行ったが、様々なご意見がありました。丁寧に時間をかけないといけません。
委員 どんな地域移行の形なのかというのが市にはない。「こんな形を目指すけど、どう思うか」、これがないから疑問だけが残る。みんなの意見を聞いてもいいが、それではまとまらない。こういう方向を目指しているがどう思うか、という方が意見を出しやすい。
事務局 ビジョンに対する問いということか。
委員 どういう方向に進み、何が聞きたいのか。
委員 スケジュールでは令和8年度までにとあるが、成立しなければ罰則規定はあるのか。
事務局 県から示されているが、何かあるわけではない。過ぎたらバツと変わるということでもない。
委員 他市でも全く進んでいないところもある。一步ずつ進めていきたい。
委員 まず、現状を理解してもらわないといけない。親御さんは基本的には続けてほしいと思う。先生方の苦労を理解していただかないと、歩みよれない。
委員 事務局は何もないというが、現場は逼迫している。そこまではがんばろうという先生もいる。できなければ、現場としてはとても困る。
事務局 そういったことも理解した上で、こうやって集まっていただいて、進めている。

3 その他

事務局 アンケートを修正して、進捗についても報告したいので、次回は来月頃をお願いします。
委員長 アンケートの確認の場になるということですか。
事務局 そうです。
委員 次回は、難しい文章は優しくするようにしてください。また、先生たちがこんなに困っているんだという数字的なものと地域移行についてのどこかの事例をお示し願いたい。
委員長 愛日の小中学校長会で、多治見市から学校部活動と地域クラブというテーマで講師が見えますので、そちらのこともまた共有させていただきます。
皆様、本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。

令和5年度第2回部活動地域移行検討委員会次第

日時 令和5年7月7日(金) 午後3時～
場所 豊明中学校 応接室

1 あいさつ

2 議題

(1) 第1回部活動地域移行検討委員会検討事項の振り返りについて

資料1

(2) 部活地域移行の具体的な進め方

資料2

ア 生徒及び教員のアンケート結果について

イ 運営主体について

ウ 生徒・保護者の意向調査について

資料3

3 その他

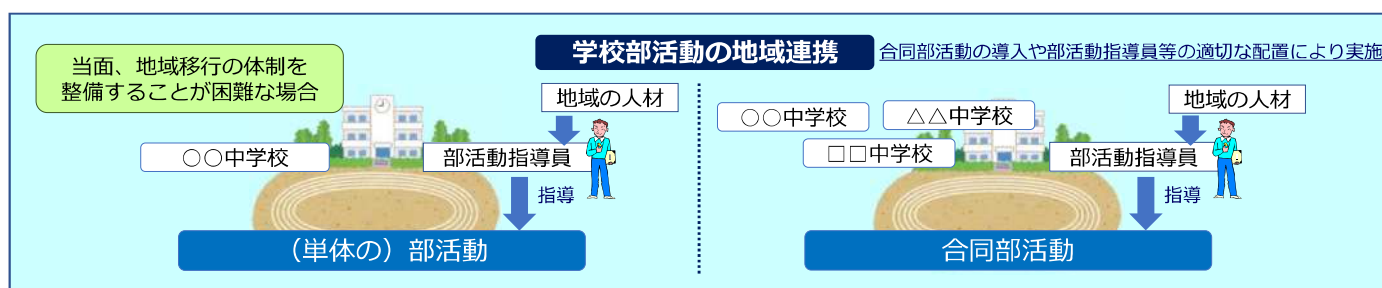
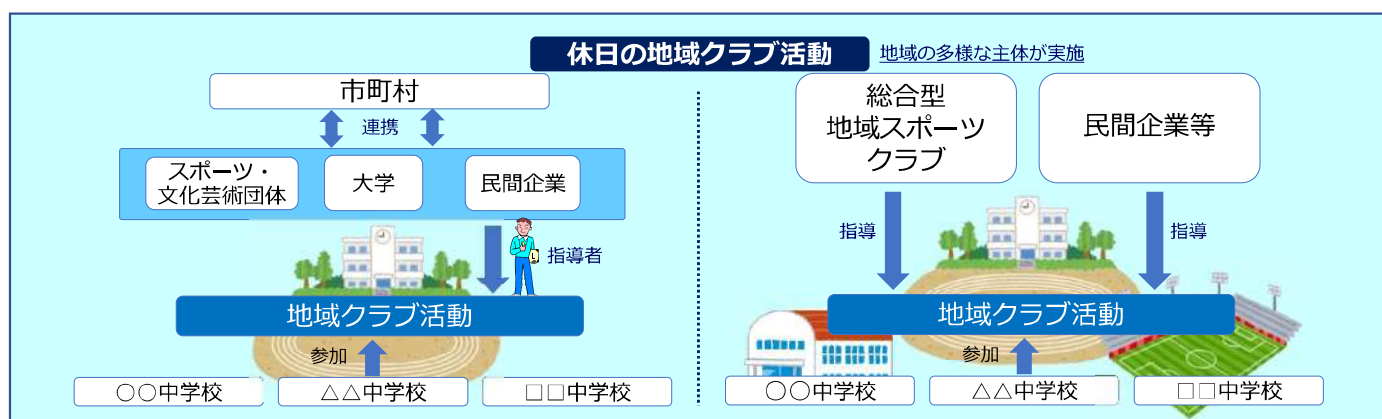
生徒が将来にわたってスポーツや文化芸術活動に継続的に親しむ環境を整えるため

©PIXTA

公立中学校の部活動の 地域移行や地域連携を進めます

部活動の地域移行・地域連携とは？

地域移行とは、これまで学校が主体となってきた部活動を新たに地域が主体となって活動する地域クラブ活動に移行することです。また、地域連携とは学校の部活動において部活動指導員等を活用することや部員が少ない学校では、複数の学校で合同練習を行うことなどです。これらの活動により、地域におけるスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の確保の充実に取り組めます。



<問合せ先>

愛知県教育委員会

保健体育課（運動部活動関係）

電話：052-954-6825

あいちの学び推進課（文化部活動関係）

電話：052-954-6780

● 地域移行や地域連携にどんなメリットがあるの？

- ニーズに応じた指導を受けられます。
- 地域の大人と関わることができます



生徒

- 生徒たちと向き合う時間が増加します。
- 学校と地域の連携が深まります。



学校

- 地域の子供たちは地域で育てるという意識が高まります。
- 指導に携わることで生きがいややりがいにつながります。



地域

● どのようなスケジュールで進められるの？

まずは休日の部活動の移行を目指し、国が示した2023年度から2025年度までの3年間の改革推進期間において、活動場所の確保や指導者の登録等を進めます。達成時期は一律に設けず、市町村の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指します。準備ができた市町村、種目から始めていきます。



指導者の確保や研修の実施等を進め、順次、地域移行・地域連携の取組を開始します。

● 誰が指導するの？

地域にある総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の指導者、大学等の学生、企業・団体・プロスポーツチームの選手や指導者、吹奏楽団・オーケストラ等の団員や指導者、地域住民等が考えられます。本来の業務に支障のない範囲で、本人の希望により地域クラブ活動の指導者として参加する教員もいます。生徒たちの様々なニーズに応えられるよう、県や市町村で人材バンクを整備していきます。

● どんな種目・活動があるの？

地域の実情により異なります。必ずしも現在ある学校部活動の全てが地域に移行されるわけではありません。様々なニーズに応え、生徒たちを地域全体で支えるために、多くの方々の御協力をお願いします。生徒たちの活動には、次のようなパターン（例）が考えられます。



Aさん



Bさん



Cさん



Dさん

平日（学校部活動）	テニス部	サッカー部	美術部	入らない
休日（地域クラブ活動）	吹奏楽クラブ	サッカークラブ	入らない	卓球クラブ

● 大会やコンクールへの参加はどうなるの？

2023年度より、全国中学校体育大会や全日本吹奏楽コンクール等において地域のスポーツ・文化芸術団体の参加が認められるようになりました。各地区の大会の在り方についても検討が進んでいます。異なる中学校の生徒が、同じ地域クラブのメンバーとして大会やコンクールに参加することもできるようになります。



このリーフレットは
右のQRコードから
ダウンロードできます



愛知県教育委員会
保健体育課
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/>



愛知県教育委員会
あいちの学び推進課
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/aichi-manabi/>

愛日地区 小学校部活動の現状について

R5.7.7

	R 4 実施校数	令和5年度7月 現在の様子
瀬戸市	2/16校	令和5年度は1校のみ。数年前から 地域移行 を進めており、保護者主体の運営がなされていることが多い。
尾張旭市	9/9校	令和5年度から部活動としては廃止 。金管バンドにおいては、外部指導員を各校配置。
北名古屋	10/10校	令和4年度をもって 全校で廃止 。新たにクラブを立ち上げることはなし。
長久手市	6/6校	令和5年4月から 4年生の募集を停止 。 令和7年に完全地域移行予定 。スポーツ少年団を推奨する。
豊山町	3/3校	令和4年度をもって全校で廃止 。生涯学習課の講座を増加。

現在の部活動と地域移行した場合の違い

	現在の部活動	地域移行した場合
位置づけ	学校教育の一環	生涯学習活動の一環（文化活動・スポーツ）
運営主体	各中学校	地域クラブ等の団体
活動種目	各学校で設置	教育委員会で用意
活動場所	各中学校	各中学校、その他の公共施設等
指導者	教員、部活動指導員	地域クラブ等の指導者
費用負担	無し（大会参加の場合等は別途）	原則として受益者負担あり

※ 段階的に進めていくために、休日を実施する部活動を地域の指導者による運営に移行していく

地域スポーツクラブ 中学生徒アンケート結果

■アンケート内容

今後地域スポーツクラブ（文化部も含めて）あったらよいなと思う種目（競技）や活動を教えてください。

■アンケート結果

【運動系】

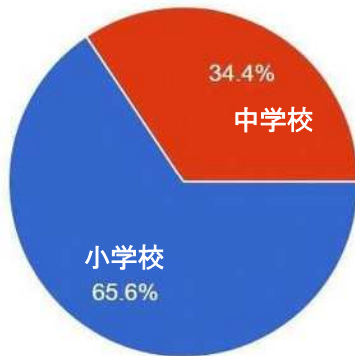
空手、アーチェリー、弓道、インラインスケート、スキー、グラウンドゴルフ、ゴルフ、野球、ドッジボール、サッカー、水泳、スケートボード、ストレッチ、スポーツ鬼ごっこ、セパタクロ、自転車競技、ソサイチ（7人制サッカー）、フットサル、ソフトテニス、ソフトボール、ボッチャ、バドミントン、ラグビー、タグラグビー、ダンス、体操、硬式テニス、登山、相撲、チアリーディング、ハンドボール、テコンドー、陸上、柔道、なぎなた、バスケットボール、水球、インラインスケート、ボーリング、卓球、トランポリン、バレーボール、ロードバイク、硬式野球、射撃、剣道、少林寺、乗馬、新体操、合気道、ダーツ、アルティメット、ジークンドー

【文化系・その他】

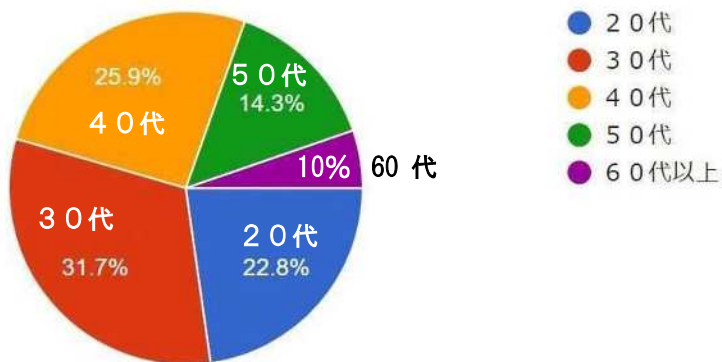
Eスポーツ、アートクラブ、ガラスアート、アニメ制作、そろばん、囲碁、英会話、園芸、化学クラブ、華道、天文、陶芸、染め物、着物、小説、釣り、百人一首、ギター、琴、カラーガード部(バトン部)、カメラ、クイズ、合唱、和太鼓、オーケストラ、お菓子作り教室、サバイバルゲーム部、将棋、スーパーサイエンスハイスクール部、演劇、茶道、陶芸、調理、合唱、プログラミング、パソコン、チェス、軽音楽、ビリヤード、モルック、

地域スポーツクラブアンケート 結果(市内教員)

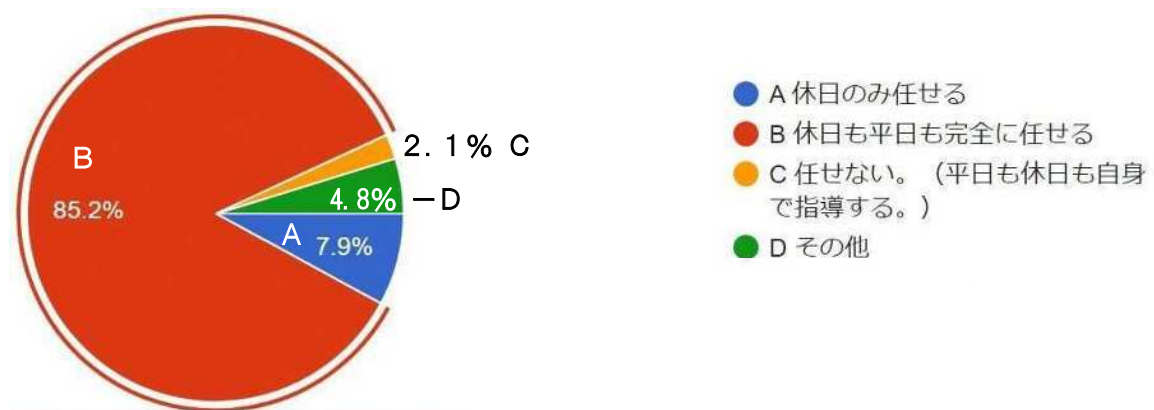
1 所属する学校種をお答えください。



2 年代をお答えください。



3 今後、部活動を地域指導者に任せることが可能になった場合、あなたは地域指導者に部活動をどのような形で任せますか？A～D から一つ選んでください。



4 3でその他と入力の方は、その内容を入力してください。

- ・ 中体連の夏大会含めて、大会経営が完全に学校から切り離される（または廃止）なら平日休日ともに完全に任せ、一切手を出さない。大会の在り方が変わらず、教員が運営するのなら、技術指導は平日休日ともに任せるが、部活経営に平日休日ともに参加する。
- ・ 指導者の方が教育的視点で指導していただけるなら任せる。
- ・ 基本的には全て任せていきたいが、生徒にも説明した上で徐々に委託していきたい
- ・ 全部任せきりにするのではなく、一緒に指導する。
- ・ 自分が指導できる部活動であれば、一緒に携われればと思っています。

5 3のアンケートでその記号(A~D)を選んだ理由をお書きください。

A 休日のみ任せる

- ・ 休日は難しいが、平日なら部活動を見られそう。
- ・ 平日は学校もあり、時間も短いため、自分で指導した方が効率が良い。
- ・ 平日は見れそう。部活では、普段学級では見られないような姿を見ることができるので貴重。
- ・ 休日の長い時間、部活の指導をできるほどの競技に対する知識が不足しているため。
- ・ 平日と休日で指導方針や指導方法等が異なると生徒が困ることもあると思うが、できれば平日は指導したい。

B 休日も平日も完全に任せる

- ・ 片方で指導するのは指導の違いが起きるため外部に全部任せたい。指導に統一性があった方がよいと思うからです。
- ・ 部活動の種類にもよるが、そもそも、方針や指導観が異なる。指導者が平日、休日に替わるのは子供たちにとってもよいものではない。
- ・ 保護者に連絡を授業後にするときは、すぐ部活動に行くことができず、子供たちを安全が保障できない。
- ・ やりたい気持ちはあるし、これまでの経験上、有意義な活動であることもわかる。しかし、ここで一気に舵をとらないと勤務の状況も変わらないので、新しい体制に移行すべきであると考えているから。
- ・ 専門の知識がある人に指導してもらったほうが上達すると思うので。
- ・ 私自身その競技の経験もなく、知識も浅いため、知識のある方に教えていただくほうが良いと感じたため。
- ・ 部活動を指導していると、勤務時間が終了してしまいます。その後、授業の準備や様々な仕事をすると夜遅くなってしまう。
- ・ 中途半端になることで、生徒たちの望む環境を整えることができず、本当に養いたい能力が身につかない。

C 任せない

- ・ 一緒にやればいい
- ・ 部活をやりたくて教員を志しました。だから、部活はやりたい。そういう人は部活に参加できるようにしてほしい。
- ・ 私自身で指導をしたいので、地域移行には賛成だが、協力していただける方には教員のサポートをしていただきたい。

D その他

- ・ 全部任せきりにするのではなく、一緒に。
- ・ 自分が指導できる部活動であれば、一緒に携われればと思っています。
- ・ 休日、平日も完全に任せるが、自分も少しは携わりたい。完全に手を引くというよりも、アシスタントコーチのような立ち位置がよいと考えます。
- ・ 基本的には全て任せていきたいが、生徒にも説明した上で徐々に委託していきたい

部活動(中学校)の地域移行に関して、期待すること があればお書きください。(自由記述)

- ・ 早くしてほしいが、地域に指導者がいない現状があるので厳しい。
- ・ 子どもたちに安定した活動の場が提供できるといいと思います
- ・ 単なる技術指導だけでなく、人として成長できるような指導の場であってほしい。
- ・ 教職員の仕事量は既に限界を超えていると考えます。部活動指導をぜひやりたいとお考えの方々もいらっしゃると思いますが、個人的には労働時間の適正化のためにも早急に学校と切り離すことが必要かと考えます。
- ・ 完全に移行されるとよい。大学生の教育ボランティアなどにも活用できるとよいのでは。
- ・ 教員の働き方改革が進み、中学校の先生方も授業や校務分掌、生徒指導など、部活動以外の仕事にもっと力を注ぐことができるようになればいいなと思っています。
- ・ 地域のスポーツクラブを活性化していくことで、学校の教員の負担は減り、働き口が創出され、地域にも活力が生まれると思う。また、子どもたちは専門の先生に指導してもらうことができ、自分の可能性をさらに伸ばすことができるので、多くの人たちにとってメリットが大きいと思う。
- ・ やっていただけるのならば、子どもたちにとって有意義な時間になるように、専門的な指導者にやっていただきたい。
- ・ それぞれの部活動の専門の方に指導してもらって、より楽しく上達していったらと思います。
- ・ 指導者が転勤して入れ替わるたびの混乱もなくなり、一貫した指導ができると思います。子どもたちも、より専門的な指導を受けることができ、全体的なレベルアップが期待できると思います。
- ・ 早急に整えてほしい。子どもたちが運動しやすい環境もつくってあげたい。校内の利用なども連携して進めるべきである。
- ・ できる限り早く移行してほしい。運動部に限らず、吹奏楽部も地域の指導者のシステムをつくってほしい。
- ・ 地域に移行した上でコーチとは違う立場でフットワーク軽くチーム運営や生徒指導に気軽に携われたらありがたいです。
- ・ 地域指導者の充実と地域指導者になりたいと思える環境の整備(地域指導者向けの技術講習など)

部活動(中学校)の地域移行に関して、心配すること があればお書きください。(自由記述)

- ・ 学校の指導者と地域の指導者の方針や温度差の違いがあると、子どもたちが戸惑ってしまう。
- ・ 段階的な移行になったときに(例えばまずは休日のみ移行など)しっかりと連携が取れるのか。
- ・ 子供や保護者にとって、新たな負担にならないようにしていただきたい。経済的な格差が影響しないようにしてほしい。また、地域の指導者が学校で指導する場合、生徒指導の面で学校と大きな差が生じないように配慮してほしい。

- 学校の部活動のように、だれでも入れる雰囲気を残してほしい。
- 中学校の部活動は、生徒指導と関わるのが大きいと感じる。地域指導者と連携する時間の確保なども難しいと思うが、インターネット等を使って、連絡をこまめにとる必要がある。
- 学校ごとの部活がなくなってしまう、遠くの学校まで部活に参加しなくてはならなくなると所属できる部活に限られるので、選択枠が減ることが心配です。
- 担当の先生と地域指導員の指導方法の違いなど、子供が混乱しなければよいが。
- 教員の中でも指導に当たりたい方も見えるので、そちらも合わせて実施に向けてお願いしたいです。
- 中途半端な移行は望んでいません。以前豊明市で移行がうまくいかなかったように、完全移行をベースにしなければうまくいかないと思います。
- 指導者の熱意と学校のテストや行事との兼ね合い。けが等の責任。
- 生徒の主体性に任せることによる参加者の減少。また、学校保管になっている資材(楽器など)をどのように地域に還元するのか。
- 教員が全く関われない、というふうにはしないで欲しい。
- 地域移行は、指導者の確保と同時に、大会構造の変革(廃止含めて)が同時に必要と思う。

地域の指導者として登録できそうな種目があれば、入力してください(自由記述)。

バスケットボール バドミントン バスケット 剣道 バレー ハンドボール 合唱
サッカー 吹奏楽 野球 テニス 柔道 ソフトボール 卓球 水泳 落語

部活動の地域移行に係るアンケートのお願い

中学校における部活動は、異年齢との交流の中で生徒同士や教員と生徒との好ましい人間関係を構築したり、活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、生徒の自主的で多様な学びの場として教育的意義を有してきました。

しかし、部活動をめぐる学校の状況は、少子化や学校における働き改革が求められる中、部活動の持続可能性について厳しい状況となっています。

こうした背景の中、子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツ・文化芸術活動等に親しむ機会をもつことができるよう、学校と地域との連携や協働によって持続可能な部活動の環境を構築する必要があります。

そのため、2023年6月に愛知県・愛知県教育委員会から示された「部活動の地域移行・地域連携の進め方に関するガイドライン」に基づき、生徒の多様なニーズに応じた活動機会の保障と、教師の働き方改革の両立に向けて部活動の地域移行を進めていきたいと考えています。

つきましては、地域移行の第1段階として、休日の部活動について地域の指導者を活用した部活動の形に移行していくにあたり、生徒自身の思いや保護者の方のお考えを踏まえた形で移行していく必要がありますので、お手数ですがアンケートへの回答をお願いします。

部活動に関するアンケート（小学生徒用）

1 あなたの学年は何年生ですか

- 4年生 5年生 6年生

2 あなたが入っている部活動の種類を教えてください

- 運動部 文化部 入っていない

3 【問2で「入っていない」と回答した人のみ】

あなたが部活に入っていない理由は何ですか

- やりたい部活動がなかったから
 習い事やスポーツクラブに参加しているので、部活動に参加する時間がなかったから
 早く家に帰って遊びたいから
 入部したが練習が厳しかったから
 入部したが、友達との関係がうまくいかなかったから
 入部したが、活動がつまらなかったから
 その他（ ）

4 あなたが中学校に入って、部活動に参加するとしたら、大切にしたいことは何ですか

（複数回答可）

- 体力を向上させたい
 勝つことよりも楽しく活動したい
 大会などの協議で勝つ喜びを味わいたい
 友達の輪を広げたい
 その他（ ）

5 あなたが中学校に入って部活動に参加する場合、週に何日参加したいと思いますか

- 週4日（平日3日 休日1日）
 週3日（平日のみ）
 週1日～2日程度
 その他（ ）

ありがとうございました

休日の部活動に関するアンケート（小・中学生 保護者用）

1 お子様の学年は何年生ですか

【中学生】 1年生 2年生

【小学生】 4年生 5年生 6年生

2 お子様の所属している部活動の種類について教えてください

運動部 文化部 所属していない

3 部活動に期待する（している）ことを教えてください（複数回答可）

学校の先生とのつながり

クラスメイト以外の生徒との交流の場

体力の維持・向上

競技力や技能の向上

ルール・礼儀などの社会性が身につくこと

授業には無い体験をすることができること

大会やコンクールで勝つ喜びを感じることができること

その他（ ）

4 部活動は週に何日活動するのが適当だと思いますか

週4日（平日3日 休日1日）

週3日（平日のみ）

週1日～2日程度

その他（ ）

5 休日の部活動の指導を教員から地域に所属する外部指導者に移行するにあたり、期待したいことは何ですか（複数回答可）

専門的な指導を受けることができる

今までの学校の部活動には無い活動ができる。

その他（ ）

6 休日の部活動の指導を教員から地域の指導者に移行するにあたり、心配なことは何ですか（複数回答可）

生徒に対する指導方法

顧問の先生の指導内容と休日の地域の指導者の指導内容との一貫性

ケガや事故が発生した時の対応

費用負担が発生すること

広域での活動に参加する際の送迎

その他（ ）

7 休日に部活をすることについてどう思いますか

休日にも部活動をしたい

平日だけでよい

その他 ()

ありがとうございました